平成21年12月15日発行　編集：中央区教育委員会

かがやき

中央区教育広報誌　No.117

ホームページアドレス　http://www.city.chuo.lg.jp/kyouikuiinkai/index.html

日本橋図書館100周年記念イベントが行われました

日本橋図書館では開館100周年を記念して「いのち」の重さとそれを伝える事の大切さをテーマにした講演会と展示会が行われました。

講演会

「江戸時代の日本橋界隈を語る」

江戸東京博物館長　竹内誠氏におこしいただき、江戸時代の地図や錦絵等を参照しながら山手と下町の違い、江戸時代の豊かな自然、日本橋の擬宝珠、また、人形町の町名の由来等について講演していただきました。当日は立ち見の人も出るくらい盛況で、皆さん講師の話を最後まで熱心に聞いていました。

「いのちの大切さについて」

「いのち」の本読み聞かせリレー

展示会

ごあいさつ

教育委員長　鈴木ゆか

皆さまこんにちは。教育委員長に就任いたしました鈴木ゆかです。

さて、さまざまな問題を抱えているいまの教育現場だけに、現状をすべて簡単に解決することは困難ですが、急ぐべきことは少しでも早く、また熟慮すべき事例は慎重に取り組み、諦めず前向きに問題解決すべきだと思います。

難問にはセオリーも大事ですが、バランス感覚も大切なのではないでしょうか。自転車に一度乗れるようになれば、しばらく乗らなくても乗り方は忘れません。大脳と反射神経のバランスのなせるワザです。

ところで、本日のご家族の一人ひとりの体調はいかがですか？　お父さんお母さん、今日のお子さんの顔色は？　元気はありますか？　寂しそうな顔をしていませんか？　もし元気がないなら話でも聞いてみてはどうですか。

子どもの皆さん、お母さんお父さんは疲れていませんか？　肩に手を当てて、ため息なんかついていませんか？　もしそうなら肩もみしてあげましょう。お手伝いして助けてあげてください。感性を使えば誰でも出来るコミュニケーションです。

教育は尊厳と責任を持ったプロの方々に大半は委ねられています。でも、すべての人が今自分に出来ることをすることが何より大事だと思います。私も大変微力ですが、できることから頑張ります。よろしくお願い致します。

マイスクールスポーツ

「なわとびで心も体もレベルアップ」

久松小学校

本校では、全校児童が「なわとび」に取り組んでいます。

一人ひとりがなわとびカードを持ち、さまざまな技に挑戦しています。体育朝会で、運動委員会の児童がさまざまな短縄の技を紹介したり、各学期になわとび月間を設け、毎週木曜日の中休みに全校でなわとびに取り組んだりしています。運動委員会の児童が検定員になり、検定員の前には合格目指した子どもたちが列をつくる姿がありました。「連続技」「単技」「持久跳び」と3つの大きな目標を掲げ、自分でどの技を練習するか考えながら行います。また、今後はリズムなわとびにも挑戦し、音楽に合わせて友達と同じ跳び方をし、一体感を味わう経験もしていきます。短縄だけでなく、長縄にも取り組み、体育朝会では8の字跳びが続けて何回できるか、学級で競い合いました。個人の目標に向かい、なわとびの技術や体力を高めることと同時に、全員で一緒に跳ぶ、チームワークを大切に続けて跳ぶ、というような経験を通して、心も体も成長してほしいと願っています。

「なわとびで巧みな動きを、持久走で体力を」

佃島小学校

本校では、「なわとび」と「持久走」に取り組んでいます。

なわとびでは、6年間継続的に使うことのできる検定カードを使用しています。検定の技は全部で37種類あり、特級では、「3重とび」や「後ろはやぶさ」にも挑戦します。なわと身体の巧みな操作ができるよう、27種類の組み合わせ技も取り入れています。「前とび→かけ足とび」「かけ足とび→かけ足交差とび」などがあります。特級目指して、子どもたちは意欲的に練習しています。

また、持久走については体育朝会で行っています。隅田川沿いのコースを約2㎞走ります。自分のペースで歩かずに走りきることをめあてにがんばっています。

今年度はなわとびの講師を招き、なわとびの魅力をさらに子どもたちに広めていきたいと考えています。日常的に体を動かす遊びの一つとして、なわとびの定着を目指しています。

教育相談室

お子さん自身が、または、お子さんのことで困ったり悩んだりしていることはありませんか？
臨床心理士が様々な相談に応じています。

【来所相談】☎（３５４５）９２００（要予約）
教育相談室で、臨床心理士が直接お話をうかがいます。
【電話相談】☎（３５４５）９２０３
高校生までのお子さんについての相談に応じます。
※　どちらも相談料は無料です。
区立教育センター　中央区明石町12－1
相談日　毎週月～土曜日

編集後記

厚着をしないと外出しにくい季節になってきました。それでも子どもたちは校内・校外で元気に活動しています。特に修学旅行では特別な時間を過ごし、ひと回り成長した姿をちらと垣間見ることが出来るのではないでしょうか。

中央区教育広報誌「かがやき」では、皆様の声をお待ちしています。
教育委員会事務局庶務課
〒104-8404 中央区築地一-一-一
☎（３５４６）５５０３

刊行物登録番号 21-008

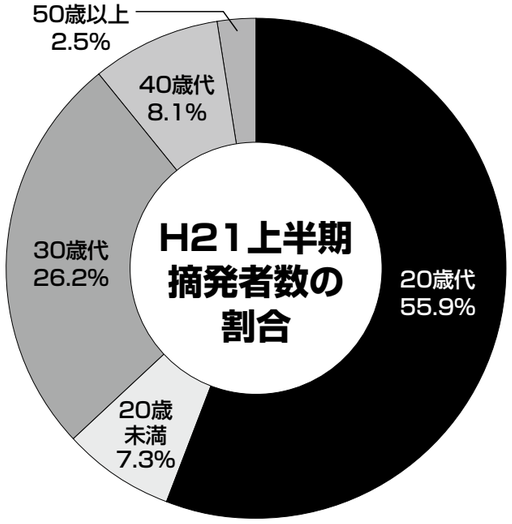
ストップ・ザ・ドラッグ！ご存じですか？薬物乱用の本当の怖さ

最近、テレビや新聞等のマスメディアで芸能人の大麻所持等による逮捕や大学生の薬物使用・栽培の摘発の増加などが大きく報じられ、薬物乱用に対して人々の関心が高まっています。

薬物乱用防止において最も重要なことは「私は決して薬物に手を出さない。」という強い意思を持つことであり、そのためには薬物の本当の怖さを知ることが有効です。

激増する若者の薬物使用

8月末に警視庁から、今年上半期（1～6月）における大麻（マリファナ）などの薬物使用による摘発人数が発表されました。摘発人数は1，446人で、昨年同期を254人も上回り、過去最悪の人数となりました。ショッキングなのは若者の増加が著しいことで、最も多い大麻についてみると、年齢別では20歳代が808人（55・9％）、20歳未満は106人（7・3％）であり、合わせると摘発件数の6割以上となります。なお、20歳未満では、大学生40人、高校生18人、そして中学生も4人摘発されています。



若者が薬物に手を出すきっかけは「興味本位」が最も多く、若者が集まるクラブや野外音楽パーティーで入手するというケースが目立っています。また、「これを飲めばやせる。」「頭がすっきりして勉強がはかどる。」「憂うつな気分が消えて楽しくなる。」など言葉巧みに勧められたり、迷惑メールで薬物関連のサイトに誘導されてしまったなど、知らず知らずのうちに薬物に手を染めてしまったというケースも見受けられます。

たった二度の薬物使用がすべてを壊す

薬物の恐ろしさは、一度使用したら二度、三度と続けて使用せずにはいられなくなり、気がついたときには中毒状態に陥っていることです。そして、中毒状態になると体や精神にさまざまな障害が出てきます。

カルシウムが破壊され、歯がボロボロになるのはよく知られていますが、最も恐ろしいのは、大脳の神経細胞の死滅による脳の委縮です。これにより「記憶力低下」や「認知障害」などのほかに、「幻覚」、「妄想」などの精神疾患の症状も引き起こします。

ひとたびこのような症状が発生すると、治療によって表面上は回復しているかに見えても、何らかの刺激により、突然「幻覚・妄想」などの異常状態が再燃します。これをフラッシュバックといいますが、これはストレスなどのほんの小さなきっかけで起きてしまいます。

薬物乱用を絶対許さない社会を築こう

薬物乱用の防止は一部の人だけの問題ではありません。薬物乱用を許さない環境づくりに、社会全体で協力することが大切です。特に、子どものうちから薬物乱用の怖さを知ることは、よりよい社会環境づくりの点でも効果的なことです。

区立小・中学校では、通常授業やセーフティ教室を利用して、警察署等の関係者を招いたビデオ視聴やキャラバンカーによる講話など薬物防止の指導に力を入れています。特に中学校ではＤＶＤやアルバムなどで薬物中毒者の禁断症状を紹介したり、歯が溶ける様子について、薬品を使って発砲スチロールを溶かす実験をして見せたり、脳のＭＲ画像などを示して、薬物乱用による脳の空洞化について説明します。さらに、子どもたちが薬物を勧められたときの断り方をロールプレイで演じることも行っています。

昭和60年頃までは、中学生のシンナー中毒者が数多くいましたが、最近は激減しました。しかし、代わりに増えているのが、20歳以上の若者の大麻使用・保持です。現在の小・中学生のような薬物乱用防止の教育を受けてこなかったことも要因の一つになっているのかもしれません。

薬物乱用防止は、学校はもちろん、家庭での教育も大切です。家族で薬物について話し合い、薬物使用は本人をだめにするだけでなく、一生家族を悲しませる罪深いことだということを認識しましょう。

●薬物乱用が心身に及ぼす影響

	大脳	眼	心臓	気管支・肺	その他
シンナー	記憶力低下、認知障害、幻覚、妄想	視力低下、失明	血圧上昇	気管支炎	歯がボロボロ、貧血、タンパク尿、胃痛・吐き気
コカイン	精神障害、脳出血、けいれん発作	視力障害	心臓発作	呼吸不全	鼻中隔穿孔
覚せい剤	精神障害（幻想・幻視・妄想など）	瞳孔散大	血圧上昇	—	食欲減退衰退、静脈炎
大麻（マリファナ）	精神障害（幻想・幻視・妄想など）	—	—	肺がん	染色体異常
向精神薬	精神障害（不安・焦燥・興奮など）	—	—	—	—
MDMA	精神障害（幻覚・興奮・錯乱・情動不穏など）	—	血圧上昇	—	知覚障害

薬物相談の窓口は、http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html

東京駅伝大会　中央区代表候補選手たち、ついに始動！

お知らせ　東京都内の中学生（2年生中心）を対象に、中学生のスポーツの振興及び生徒の競技力等の向上を図るため、区市町村ごとに男子、女子とも代表1チームを編成して競い合う区市町村対抗駅伝大会が行われます。

【日　　程】平成22年3月21日（日）　女子スタート：午前10時、男子スタート：午後1時
【会　　場】中央区晴海埠頭特設会場
【競技形式】区市町村対抗駅伝競走
（総合距離　男子：42,195km、女子：30km）

結団式及び第1回合同練習会

11月7日（土）、中央区内の中学生の候補選手たちが集まり、晴海中学校で結団式と合同練習会が行われました。総監督の晴海中学校　渡真利善校長のもと「ザ・中央区チーム」を創りあげていきます。応援よろしくお願いします。

●候補選手名（男子:23名　女子:25名）

男子				女子				
銀座中	佃　中	晴海中	日本橋中	銀座中	佃　中	晴海中	日本橋中	日本橋女学館中
三嶋　淳司	平林　篤士	杉山　直也	小林　透	和田　怜子	高島　里慧	小田桐真子	栗原　皐	相楽　美咲
南　正成	佐久間　遼	巴　亮平	塚本　耀	高田真由香	横山　和泉	田中せれな菜月	川村麻里沙	武田　紗貴
福島　拓朗	野戸　俊佑	長根山大輝	染井　優摩	河村　佳美	青木　七海	丸岡　青空	河上　真由	若林　夢奈
萩原　嘉人	前田龍一郎	馬場　宏幸	後藤　孟毅	斎藤　萌奈	礒田真美子	万代　幸恵	小田　薫	—
細越　裕希	濱田　朋之	堀川成治郎	河西　剛徳	東海林果歩	會原　初美	渡辺　沙樹	小笠原亜也	—
湯川　陽太	—	湯本　祐基	矢崎　恒平	菊池　亜美	—	山﨑むつみ	—	—

学校ではできない楽しい授業 in 教育センター

教育センターでは、区立小・中学校の児童、生徒を対象に「学校ではできない特色ある授業」を行っています。
9月は科学教室や発明くふう展、ロボットコンテストなど、知的好奇心・探究心をくすぐる楽しい授業・イベントが行われました。

●科学教室で学んだ「命の大切さ」

区立中学生を対象に開かれている科学教室。9月12日（土）はカエルの解剖が行われました。先生は「理科は五感を使って学ぶ教科。実際に見たり触ったりすることで印象に残り、その時に学んだことが知識として頭に入ります。今日見たことや感じたこと、生き物の命を大切に思う心を忘れないでください。」と子どもたちに訴えかけていました。

●ステップ1
カエルの目はどこについているのか、足の指は何本かなど、体のしくみと機能について勉強しました。

●ステップ2
実際に水中のカエルを触って観察。水中で便利だから頭の上に目がある、陸上と水中で使い分けるから前足と後ろ足の指の数は違うなど、疑問に思った外部形態について解明しました。内部形態の観察では、真剣な眼差しで作業を行っていました。

●第38回中央区児童・生徒　発明くふう展

9月23日（水）～27日（日）、区立小・中学生による創意と工夫に富んだ作品が展示されました。

「最近気になっているお父さんの体型」や「意外な物を集めるお母さんのくせ」、自分自身が「あったら便利だな」と思うものなど、創るきっかけは日々の生活の中で感じたことや思ったことがほとんどでした。

牛乳パックや使用済のペットボトル、傘の骨などシンプルな素材を使い、それをひと工夫している作品が多く「お母さん、これ欲しいね。」「うちでも作って使いたいね。」と会話している親子の姿が見受けられました。

「回転まな板」
一回一回まな板の向きを変えずに野菜などを切れる作品。

「お湯取り名人」
お風呂のお湯をほぼ最後まで吸い取れる作品。

「つり専台　焼レンジャー」
電子レンジ使用の際、焼き物の余分な油を落とせる作品。

●第1回中央区ロボットコンテスト

特別課外授業「ロボットを創ろう」。この教室はロボットづくりの基礎を身につけ、ものづくりの楽しさを体験してもらうために、区立中学生を対象に7月中旬から11月中旬まで開催されました。

今年度からは、初の「中央区ロボットコンテスト」も開催され、参加した11名の選手たちは自ら製作したロボットで競技に臨み、会場は大いに盛り上がりました。

●ロボット規格検査
2足走行ロボットの本体サイズや重さ、足の裏の大きさ、片足で立つことができるかなど、さまざまな角度から検査されます。無事検査を終了した選手たちは、ほっと一安心。

●ブロークンタワー競技
中央区オリジナル競技。スタート地点から出発して、競技エリア内設置された塔（タワー）を倒してゴール地点へ。スタートからゴールまでの時間と倒した塔の点数を競います。

選手が後ろ走行やプロペラを回しバランスをとったりして手作りロボットを器用に操っていました。

■「ロボットを創ろう」3年目を終えて

（有）擬人機工藝　代表取締役　澤田　毅

「ロボットを創ろう」で生徒にロボット製作の助言・指導したり、コンテストの審判を務める澤田さんにお話を伺いました。

「ロボットを創ろう」も今年で3年目。「今年こそはロボコンで完走したい！」3年間ほぼ休まずに受講した生徒の声だけに講師としても実現させてあげたいです。

しかし、中学生向けとはいえロボットらしいロボットを作るのは難しく、最初から難易度の高い課題だと生徒たちは挫折し、実習作業の停滞を招きます。このような場合、簡単な作業で動作するものを作ることから始めています。

「ロボットが動けば楽しい、楽しければ工夫してみたくなる。」「工夫するために知識を求め知恵を出す。」「試行錯誤して、モノを作る思考を学ぶ。」というのが授業の目的だと思っています。

生徒たちには、まずは自分でロボットの組立手順を考えるよう伝えていますが、頻繁に「次はどうすればいいですか。」と聞かれます。その場合、私は常に「あなたはどうしたいのかな。」と聞きます。これはどうするのかを教えるのではなく、何がしたいかを考えてもらう事が重要だと思ってのことです。それは他人に自分の考えを伝える練習にもなります。とはいえ、何も無いところからアイデアを出すのは極めて困難なため、アイデアを導くためにはサンプルや映像資料等をたくさん見てもらうことが有効だと思い工夫してきました。

授業回数が16回。「こんな方法を考えましたが見てください。」という声とともに、生徒の皆さんの作品はなかなか奇抜なアイデアであり、感心する事も多く、将来が楽しみです。

東京都中学生ロボットコンテスト出場

11月14日（土）に都立工芸高等学校で東京都の中学生ロボットコンテスト（第7回創造ものづくりフェア in TOKYO）が行われ、「ロボットを創ろう」に参加していた生徒たちが活躍しました。

・スプリンター部門

順位	学校名	ロボット名
1位	晴海中	スプリンターズ
2位	佃　中	桜桃
3位	銀座中	Σ

・スラローム部門

生徒それぞれの思い…

心に残った修学旅行

今年は新型インフルエンザの影響により実施日が遅れてしまいましたが、無事、すべての中学校が修学旅行に行くことができました。生徒たちにとっては特に思い出に残る強い校外学習になったのではないでしょうか。

▼銀座中学校

「修学旅行の思い出」　3年男子

京都と言えば、寺と八つ橋。奈良と言えば、鹿。それぐらいしか僕は京都と奈良について知らなかった。それでいいと思っていた。でも自分達で学習したり、人の話を聞いたりすると、つまらなさそうな寺やあまりパッとしない仏像が凄くいいものに見えたりもした。

3日目のタクシー行動で行った『鈴虫寺』で、そこのお寺の住職さんにお話を聞いた。そのお話はとても面白かったし、そのお寺のこともわかった。そして、お地蔵様のお参りのしかたも知ることが出来た。また、そのお話の中でこんなことを言われた。「みなさん、観光客にならないでください。参拝者になってください。」確かに、僕が行った寺は、ただ見て凄いなと思っただけだったので、次に、もし行く時はただの観光じゃなく、違った気持ちで京都へ行きたいと思った。

「修学旅行で学んだこと」　3年女子

最終日、私は鳥肌のたつ程感動する経験をした。それは、竜安寺の石庭を見た時である。思っていた程広くはなく、その代わり奥行き深いモノトーンの空間に感動した。まだ紅葉しかけで葉に緑が残る木々に囲まれた静かさの中では、東京では味わえない落ち着きを感じることができた。

竜安寺には有名な石庭だけでなく、歴史でも学んだつくばいもあった。『吾唯足知』と書かれていて、秀吉と同じものを見ていると思うと、不思議な気持ちになった。

もう一つの感動したことは、京都の人の優しさだ。清水寺の近くのお店屋さんに入った時東京から来たとわかったお店の人から「次にどこに行くの?」と聞かれ、「三十三間堂です。」と答えると、「何番のバスに乗ると近い、何番のバスはしょっちゅう来るから良いよ。」とアドバイスしてくれた。見慣れない町で戸惑う私達にとって凄く温かい体験となり、京都の人の優しさに触れられる貴重な体験をすることが出来た。

▼佃中学校

「広島で学んだこと」　3年女子

私たちが広島で奉納した折り鶴の題名は「平和の夜明け」と言います。今の世界はまだ平和とは言えない。戦争などで傷ついている人々がいる。だからこれから争いをなくすように平和について考え行動しなければならない。そんなメッセージが「平和の夜明け」には込められています。私は毎日学校へ行って、とても充実した日々を送っています。世界のどこかで戦争などによって傷ついている人がいたとしても、そのことを知らずに生きていくこともできます。だから私はいつも「平和」ということに対してどこか他人事のように考えてきた気がします。でも他人事なんかではない、と今回の修学旅行、特に広島に行った時に考えさせられました。六十四年前まで日本も戦争をしていました。日本は今は憲法で戦争放棄と定められていますが、それも今だけの話です。「歴史は繰り返される。」とよく社会科の先生はおっしゃいます。そうだとしたらこれから先、日本で戦争が起こらないとも限らなくなってきます。だから竹内さんのように戦争や原爆の怖さを伝えられる人になりたいと思います。そして未来の子どもたちやそのまた子どもたちに伝えていきたいです。

▼晴海中学校

「大切な修学旅行」

残暑厳しい九月六日から八日まで、京都・奈良への修学旅行を実施しました。新型インフルエンザの影響のため、実施時期の変更で閉館日にあたってしまった班があるなどしましたが、全員無事に終えることができました。生徒たちは、作文の中で思い出をこのように残してくれています。

一日目の法隆寺は、とても込んでいましたが、国語の授業で五重の塔の歴史や構造を学習していたので、ガイドさんの説明が理解しやすかったです。奈良公園には予想以上に沢山の鹿がいて、鹿せんべいを争って食べている姿には圧倒されてしまいました。

二日目は班行動だったのですが、バスがとても込んでいて二台、三台待っても乗れませんでした。しかたがないので次の見学場所まで歩いて行くなど、予定通りに行動できなくて、見学場所をとばさなくてはなりませんでした。

三日目のタクシー行動では、運転手さんが京都の歴史やその土地の由来などをクイズ形式にして、分かりやすく教えてくださりして、とても楽しく見学することができました。

たくさんの方々に支えられて、一生忘れられない、大切な思い出になりました。

▼日本橋中学校

「楽しい思い出」

修学旅行は新型インフルエンザの影響で夏休みの間に行われました。新幹線の中から皆の気持ちは高まっており、最初に行った奈良公園では鹿せんべいを買って鹿と遊んでいる人がたくさんいました。二日目の班行動ではそれぞれが思いっきり京都を満喫したと思います。この日の夜は舞妓さんも見ることができ、さらに京都を味わえたと思います。三日目は西陣織りや清水焼など伝統工芸を体験しました。良い経験になりました。今回の修学旅行は延期にはなったけれど皆それぞれたくさんの思い出を作ることができたと思います。修学旅行が中止にならなくて本当によかったです。

「修学旅行を終えて」

最も鮮明な記憶として残っているのは二日目の班行動です。僕の班には地図や説明どおりに歩くことのできない、いわゆる方向音痴の人が多く、僕もその例外ではありません。案の定、目的地までの道のりは困難を極めました。しかし大変だったからこそたどり着いた時の喜びもひとしおでした。方向音痴というハンディが意外な達成感に繋がりました。修学旅行の意義は名所旧跡の見学だけでなくこの類の体験にもあるのかもしれません。

プレディでサポーターを募集しています！

プレディは「地域ぐるみで健全育成、地域の子どもは地域で育てよう！」という趣旨のもと、サポーター（保護者や地域の方）の協力を得て、放課後や土曜日などに小学校施設内で児童が安全に安心して過ごせる「子どもの居場所」です。このプレディで子どもたちを見守るサポーターを募集しています。

●「サポーター」ってなぁに？

プレディのサポーターとは、子どもたちといっしょに遊んだり、おしゃべりしながら「子どもたちを見守るボランティア（事前登録が必要）」です。

平日は午後2時から6時までの間で、ご自身のご都合の良い時間に2時間程度の活動をお願いしています。

区の負担で傷害・賠償責任保険に加入します。

●サポーター活動の紹介

活動の一例をご紹介します。

おはなし会（プレディ京築）

オセロ（プレディ月二）

野球（プレディ明石）

本の読み聞かせが得意なサポーターは、子どもたちに本を読んでくれます。ホームルームの片隅に読み聞かせのコーナーができ、子どもたちが集まります。そして、物語が始まると子どもたちは静かに聞き入り楽しいひと時を過ごします。

折り紙などをしている子に寄り添ってくれるサポーターもいます。子どもたちの声に耳を傾け、おしゃべりをしてくれます。子どもたちにとっては心のオアシスとなっています。

サッカーの大好きなサポーターもいます。校庭が使える時間になると、指導員とともに校庭に出てくれます。子どもたちといっしょに汗をかき、力いっぱい遊んでくれます。

このように、ご自分のできることで、子どもたちを見守っていただく活動です。

サポーター登録の受付は随時行っております。1人でも多くの登録をお待ちしております。

※登録については各プレディにお尋ねください。

※問合せ先

庶務課開かれた学校推進係

☎（3546）5690

プレディ設置校

プレディ名	電　話
プレディ明石 明石小学校内	3544−2860
プレディ京築 京橋築地小学校内	3545−2843
プレディ有馬 有馬小学校内	3666−3960
プレディ佃島 佃島小学校内	3536−7041
プレディ月一 月島第一小学校内	3531−4746
プレディ月二 月島第二小学校内	3531−1045
プレディ月三 月島第三小学校内	3531−7251
プレディ豊海 豊海小学校内	3534−1300

学校給食レシピ集

●パンプキンシチュー　4人分

〈材料〉

- 鶏こま肉……80g（2cm角）
- かぼちゃ……120g（2cm角）
- うらごしかぼちゃ……80g
- たまねぎ……大1個（2×3cm）
- にんじん……1/2本（いちょう切り）
- マッシュルーム缶……40g
- パセリ……2g（みじん切り）
- 炒め油……小さじ1
- ルー
  - サラダ油……小さじ2
  - バター……8g
  - 小麦粉……大さじ2
  - 牛乳……1カップ
- 水……1カップ
- 乾燥コンソメ……小さじ1
- 塩……小さじ1
- こしょう……少々
- 生クリーム……小さじ2

〈作り方〉

①野菜をそれぞれの大きさに切る。
②油で鶏肉・たまねぎ・にんじんを炒める。
③②の鍋に水とコンソメ、マッシュルーム・かぼちゃを加え煮込む。
④別鍋でホワイトルーを作る。サラダ油・バターを焦がさないよう溶かし、小麦粉を加えて炒める。牛乳を加え、手早く混ぜる。
⑤③にルーを加え、うらごしかぼちゃ・生クリームを入れる。最後に塩・こしょうで味を調え、パセリをちらす。

※ビタミンAが多く、体が温まるので冬にぴったりのメニューです。

●開口笑（かいこうしょう）（ごまドーナツ）　4人分

〈材料〉

- 小麦粉……100g
- ベーキングパウダー……小さじ1/3
- バター……6g
- 砂糖……25g
- 卵……25g
- 水……8g
- いりごま（白）……6g
- 揚げ油……適量

〈作り方〉

①小麦粉とベーキングパウダーを一緒にふるう。
②卵の中に溶かしバター・砂糖を入れ混ぜる。
③水を少しずつ加える。
④小麦粉・いりごまを入れ混ぜ合わせる。
⑤食べやすい大きさに丸めて揚げる（低温でじっくり揚げる）。
※水は硬さを調節しながら入れてください。

●サイダーゼリー　4人分

〈材料〉

- a
  - 寒天（粉末）……8g
  - 砂糖……大さじ2半（24g）
  - 水……120cc
- サイダー……160cc
- みかん缶……48g
- プリンカップ……4個

〈作り方〉

①鍋にaを合わせて寒天が戻ったら火にかけ、沸騰後火を止めてサイダーを加え混ぜる。
②みかん缶を入れたカップに①を流し入れる。
※冷蔵庫で冷やすとさらにおいしくいただけます。

※給食では、冷やさずに固まる「寒天」を使用していますが、「粉ゼラチン」でも口当たりのよい仕上がりになります。ぜひご家庭でお試しください。

学校図書館システムの導入

来年、2010年は、国民読書年です。これは、「子どもの読書活動に関する法律」の制定から10年が経過し、改めて読書活動の意義を伝えるものです。

中央区では、平成21・22年度にかけて、学校図書館のシステム化を進めており、今年度は、12校の小・中学校に導入しました。

このシステムは、図書資料をデータベース化することにより、バーコードで貸出・返却が簡単に行えます。また、データの中には、その図書の内容や対象学年などの情報が盛り込まれているとともに、調べもの学習に役立つテーマでの検索など、より児童・生徒の求める図書を提供することが可能になりました。さらに、公立図書館の資料についても学校図書館で検索できるようになり、学校での団体貸出の促進につながることを期待しています。

児童・生徒が、読みたい図書を、いつでも、どこでも手にすることができるよう、読書活動の支援を学校図書館と公立図書館が連携して行っていきます。

～家庭教育学習会のお知らせ～
子育てまっ最中のみなさんを応援します！

中央区地域家庭教育推進協議会では、地域全体で子育て活動を支援するために、学校・幼稚園ＰＴＡや子育てサークル等と共催した家庭教育学習会を行っています。

さまざまな学習会については「区のおしらせ中央」や学校等を通じて配布する「家庭教育学習会のおしらせ」もご覧の上、ぜひ足をお運びください。子育てまっ最中の方はもちろん、地域での子育てに関心のある方の参加をお待ちしています。

※問合せ先
中央区地域家庭教育推進協議会（事務局 区民部文化・生涯学習課内）
☎（３５４６）５５２６

日　時	共催団体・テーマ	会　場・対　象	問合せ・申込み
1月23日（土） 午後1時30分 ～3時30分	有馬小学校PTA 人と犬の命の共生 幸せの絆 名犬チロリの物語	有馬小学校 小学生の親子を中心にどなたでも	有馬小学校 ☎3666-5702
1月29日（金） 午前10時30分 ～午後2時50分	月島幼稚園PTA おはなしの会	月島幼稚園 幼児の親子を中心にどなたでも	当日直接会場へ
2月6日（土） 午後2時 ～4時	銀座中学校 心身障害学級父母の会 グループホームの今、 －現状と今後の見通し－	福祉センター どなたでも	当日直接会場へ
2月16日（火） 午前10時30分 ～12時	日本橋小学校PTA 思春期の親子のかかわり方 －コミュニケーションスキル－	日本橋小学校 主に幼児・小学生の保護者	日本橋小学校 ☎3668-2360
2月28日（日） 午前10時 ～午後1時	中央区バードウォッチングクラブ 野鳥観察を通じての 親子と地域のふれあい	月島地域の野外観察 小・中学生の親子を中心にどなたでも先着順20組（小学5年以上は子どものみ参加可）	中央区地域家庭教育推進協議会（区民部文化・生涯学習課内） ☎3546-5526
3月6日（土） 午後2時 ～3時	ひなまつりコンサート実行委員会 レインボー明石 ひなまつりコンサート	レインボー明石 どなたでも	

月島第二小学校　平成21年度優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰を受賞

11月18日（水）月島第二小学校ＰＴＡが全国の優良ＰＴＡの1校として「文部科学大臣表彰」を受賞しました。

同ＰＴＡは、運営組織・活動システムが整備されていることをはじめ、「親父の会」の設置、町の危険箇所アンケート・マップ作成、さらにはふれあいコンサートやそうめん流し大会といった手作り行事の主催など多面的に活動しており、児童の健全育成に貢献していることから表彰されました。

ＰＴＡ会長の石川浩一さんは「開校百周年の年に受賞できたことは、大変名誉なことであります。関係各位の皆様に深く感謝いたします。」と喜びを語っていました。

教育に関する点検及び評価報告

教育委員会では、毎年その施策や事業に関する点検及び評価を行って結果を報告書にまとめています。報告書では、平成20年度における主要施策の取組状況及び今後の方向性と、これに対する有識者の意見を掲載しています。また、教育委員会が定める「教育目標」や「基本方針」、教育委員会の一年間の活動内容を紹介しています。

区役所1階情報公開コーナー、6階教育委員会事務局庶務課、区のホームページで公開していますのでご覧ください。

※問合せ先
庶務課庶務係
☎（３５４６）５５０３

教育委員コラムリレー

孤立しない自立が、生きる力のバネとなる

〈第3回〉教育委員　永嶋久子さん

海外生活27年、国境・人種・性別・世代を超えて人の心に触れ、美を求め続けた働く女性のパイオニア。男性社会の壁にぶつかりながらも、資生堂2人目女性役員に就任。男性も女性も一人の人間として堂々と働く企業文化を目指した永嶋さんに、「人づくり」と「教育」について伺いました。

<プロフィール>
2005年12月1日から教育委員に就任。1959年、資生堂福岡販売㈱入社後、62年、同社初の海外派遣美容部員となる。訪問国60カ国。27年間で世界34カ国におよぶ資生堂の海外進出の立ち上げ業務に携わる。97年から資生堂美容技術専門学校の校長を務め、今年3月退任。

学びたいときがいつでもチャンス

私は、27年もの間、海外生活を経験しましたが、外国の方から学んだことは多いですね。印象深いのはキャッシーとアン。キャッシーは私の有能な秘書でした。彼女はいつも夕方5時になるとパッと帰ります。ある時「習い事でもしているの?」と聞くと、「将来、弁護士になるために勉強しているのです」との答え。私は驚きました。キャリアアップのために自分に投資するという考えは、当時（1970年代）の日本ではなかったので、とても新鮮だったのです。

アンは資生堂の国際部で雑務を担当していました。彼女はハワイの日系3世で、その頃はまだ20代の始めだったでしょう。日本に興味津々で日本人より日本的だったアンから、先日、30年数年ぶりにメールが来たのです。彼女と再会して、今、どうしているか尋ねました。なんと、アンはハワイ大学の文化人類学の教授だというのです！聞けば、学校に入り直し、一生懸命勉強したそうです。アンは探究心の強い人だとは思っていましたが、まさか教授になっているとは思いもしませんでした。うれしい驚きでしたね。

外国ではキャリアアップのために勉強すること、自己投資することは当たり前のことです。「自立心」と「探究心」を両手に、たとえいくつになっても、一ヵ所にとどまらず前に進みます。「学ぶことに“遅すぎる”はない!」と教えられました。

校長として、「人づくり」への取り組み

私は今年3月に、資生堂美容技術専門学校の校長を“卒業”しましたが、在職中は「生徒一人ひとりの全人格をお預かりしている」と肝に銘じていました。そのため積極的に「人づくり」に務め、学校改革にも取り組みました。

私が、入学式や体験入学で必ず話していた言葉は、「当たり前のことを当たり前に出来る人になってほしい」ということ。当たり前とは、朝夕の挨拶や感謝の心を素直に言えるなど、決して難しいことではありません。挨拶は教師・生徒問わず、気づいた方からするように心掛けました。

ほかにも新校舎建設（旧校舎50年経過）、校長室の開放、学校独自の奨学金制度の創設などを行いました。奨学金制度は、高い志を持ちながらも、家庭の事情のために学費が払えず、退学せざるを得ない学生を何とかしたいという気持ちがきっかけでした。私は有言実行の若い人を応援したい気持ちが強いのです。また、先生方にはとにかく学生と向き合う時間を作って欲しかったので、その妨げとなる事務処理の整理・撤廃にも力を入れました。

教育現場にいる人たちへの関心を

企業や学校で、長年「人づくり」に関わってきましたが、「教育ほど崇高なものはない」とつくづく思います。教育はとても地味ですが、一人の人間が自立出来るように支える、導くという重要な仕事です。つまり、生きる力を養うということ。そして、生きる力の根幹となるのは自立ですが、それは「孤立しない自立」でなければなりません。人間は決して一人では生きていけませんから、みんなと助け合いながら、自分の足でしっかりと立つ必要があります。

現在、環境問題や地域紛争など世界レベルの問題が山積しています。それらを解決する鍵となるのは教育でしょう。21世紀を担う子どもたちは、日本だけではなく、世界が守備範囲です。私はこれからも高い志を持つ人材を育てるための教育、さらには現場の先生方への関心を持ち続けていきたいと思っています。

教育委員会の動き

第９回定例会（平成21年９月９日開催）
（議案）
◆平成21年度中央区一般会計９月補正教育予算案に伴う意見の申し出について
（報告事項）
◆平成22年度小・中学校新一年生、幼稚園の就学（園）事務について
◆平成21年度小学校夏期臨海学校の実施結果について
平成21年度学習力サポートテストの結果について
◆平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について
◆子ども図書館員の実施結果について
◆平成22年新年こども羽根つき大会（第54回）の実施について
◆意見・要望について
（委員長選挙）

第10回定例会（平成21年10月21日開催）
（議案）
◆平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成20年度分）の結果に関する報告書について
（報告事項）
◆新型インフルエンザによる臨時休業（学級閉鎖等）の状況について
◆平成21年度区立小・中学校児童・生徒体力調査の結果について
◆平成21年特別区人事委員会勧告等概要について
◆平成22年中央区成人の日記念式典「新成人のつどい」の実施について
◆第21回「区民スポーツの日」の実施結果について
◆意見・要望について

第11回定例会（平成21年11月11日開催）
（議案）
◆平成21年度中央区一般会計11月補正教育予算案に伴う意見の申し出について
（報告事項）
◆平成21年第３回区議会定例会（９月議会）における一般質問について
◆決算特別委員会での質問について
◆中央小学校・明石小学校改築基本計画（案）について
◆区立幼稚園の申込み状況について
◆区立小学校特認校制度の申込み状況について
◆区立中学校自由選択制の申込み状況について
◆新型インフルエンザによる臨時休業（学級閉鎖等）の状況について
◆平成21年度各学校における授業改善プランの概要について
◆第30回「中央区子どもフェスティバル」の実施結果について
◆意見・要望について